

データを活用した地域課題の発見！



なはセシ通信

Vol.98

2024年
10月号

目次

- 1 地域情報化アドバイザーが教えるデータ活用
- 2 なは市民活動支援事業 助成団体
- 3 講座・イベント
- 4 なは市民活動支援センターについて

問い合わせ

なは市民活動支援センター
098-861-5024
C-KATU005@city.naha.lg.jp

地域情報化アドバイザーが教えるデータ活用

9月6日(金)那覇市役所本庁にて「地域情報化アドバイザーが教えるデータ活用講座」が実施され、市職員やなは市民協働大学院の受講生、まちづくり協議会関係者が参加しました。

『現代は「データの時代」と言われており、データに触れない日はないのではないだろうか。さらに、オープンデータといったものも国や自治体から公開され始めており、データを見るだけではなく、それらを扱う機会も同時に増えてきていると思います。

本セミナーは、総務省地域情報化アドバイザーであり、元加古川市職員でもある多田功さんをお招きし、データ活用についてお話しいただきました。データを活用することで、これまで業務の中で蓄積してきた勘や経

験をさらに裏付けすることができ、より実用的な施策へと繋がるなど、行政経験がある多田さんだからこそ伝えられる要素が盛り沢山の内容でした。

例えば、アンケートでよく見る【自由記述】。データとしてどのように活用しているのか扱い方に苦戦しがちですが、自由記述の回答の中には、ユーザー(アンケートの対象となる人)目線の重要な要素が多く含まれています。こういった扱いにくいとされているデータもテキストマイニングなどのツールを使うことで可視化され、定性的なデータとして扱うことができることと紹介されました。一見データとして扱えないのではないかと思われるものもツールを使って可視化し、定性データとすることで、定量的なデータと掛け合

わせ、市民に寄り添った施策や市民活動へと繋げることができるといふデータ活用の事例を紹介いただきました。それと同時に、同様の地域特性を持った自治体はないことから、他の自治体を取り組んでいるデータ活用の事例をそのまま取り入れるのではなく、その土地やそこに暮らしている人たちの実態に目を向け、その地域にしかない地域特性をもって「1つの正解を求めるのではなく、自分たちにしか考えられないようなアイデアを！」とエールを送っていただきました。

参加者からも、「未来に向けてワクワクした」「これからの仕事の仕方が変わる」「受け取り側の負担を減らすためにも、発信側のスキルを高めていかないといけない」など、充実した様子が見え、感想を多くいただきました。



なは市民活動支援事業 助成団体の活動！！

◇自治会長会連合会

令和6年度なは市民活動支援事業助成金を活用し、自治会長会連合会、沖縄大学、那覇市の三者が連携・協働し「なはユース自治大学」を実施しています。

松島自治会、古島自治会、銘苅新都心自治会、真地自治会、石嶺ハイツ自治会、小禄泉原自治会をフィールドに、沖縄大学に通う学生が自治会の取り組みや現状・課題について学び、実践をすることで地域づくりに貢献することを目的としています。

座学で学び、地域に向いて各自治会独自の取り組みを実際に体験するというカリキュラムを経て、どう思ったのか、どのような工夫で若者の参加が増えるのか、グループワークにて若者



目線での検討が行われました。地域に入って活動をすることで、「元気をもらった、機会があればまた参加したい」と話す学生もおり、これからの地域での取り組みも楽しみです。



◇キャンサーグリーンおきな和

キャンサー・グリーンおきな和は、がんで大切な人を亡くした方が、共に集まり語り合い気持ちを分かち合うことで、安らぎのある生活ができるようになることを目指し、3か月に一度、遺族会として「おもいを紡ぐ会」(語り合う場)を開催しています。

8月25日(日)に開催された「おもいを紡ぐ会」に見学に行きました。今回は、参加者4名、スタッフ3名の計7名での会となりました。事務局はお花を飾ったり、お茶やお菓子を用意するなど、参加者の方々が話しやすい雰囲気作りもされていました。ご自身

の体験を語りつつ、車の運転などの雑談もあり、和やかな雰囲気での会でした。参加者からは、「友人にはできない同じ体験をした方には、打ち明けられる話や相談ができた。こういう風に話せる場があることは大助かりだ。助かる。」とお言葉がありました。



△番外編▽フードドライブ

なは市民活動支援センターの券売機横にフードドライブボックスがあるのをご存じでしょうか？

フードドライブはご家庭で消費しきれない食料を子ども食堂や困窮者支援活動をしている団体へお渡しする活動です。

8月も個人をはじめ企業様から多く

のご支援をいただき、センターに登録のある団体様へお渡ししたところ、「とても助かります！ありがとうございます！」とお返事をいただきました。皆様の優しさが子どもたちや必要としている方へ届けられていることを実感し、うれしい気持ちになりました。センターでは開館時間内はいつでもフードドライブを受け付けております。ぜひセンターにお持ちいただき、「もったいない」を「ありがとう」へ変えていきましよう！

※注意※

- ・賞味期限が3か月以上あること
 - ・保存が可能なもの(生ものはNG)
 - ・アルコールはNG
 - ・外国語表記のもの(もらう方が読めない)と困ってしまうため)
- 詳しくはセンターまでご連絡ください。



講座・イベント

◇NPO会計講座

9月2日(月)、なは市民活動支援センター会計講座【入門編】を開催し、実務に悩む方やNPO会計について触れてみたいという任意団体の方まで様々な立場から多くの参加がありました。

本講座は「NPO会計力検定」の公式テキストを監修したTAパートナーズの相浦氏を講師に招いて実施しました。

「NPOと聞くと、何を指していますか?」「自身の所属はNPOだと思いますか?」という問いからはじまり、NPO法の基本理解、NPO会計に関わる際に必要とされる初歩的な知識を学びました。NPOとは福祉、まちづくり、環境保全、国際教育など、さまざまな分野の社会貢献活動を行い、構成員に対して利益を分配しない団体の総称であること等、改めて分かりやすい説明を受けることで、なんとなく理解していた部分が明確化し、すっきりと理解することができました。

会計も基礎から学ぶことで、なぜ会計が重要なのかを理解し、託されたお金をどう活用したのか、賛同者や支援者に報告するためのものでもあると理解することで、「少しだけ会計を好きになれた」「前向きにな



れた」と参加者から反響がありました。講座で使用した公式テキストも、とにかく内容が具体的。講師が読み上げるだけで、「会計あるある」と参加者が笑いながら頷く場面も多く見られました。
一般的によく想像するような会計講座となんだか違う…受講者の身近なところで起きている会計業務の「あるある」に寄り添いながら楽しく理解も深めることができた時間になったかと思えます。
次回、会計講座【基本編】も楽しみです。

※注意※

会計講座【基本編】は、定員に達しましたので締め切りました。

講座・イベント

初めてのボランティア講座 ～子どもの居場所ボランティア～

2024年10月29日(火)

【場所】なは市民活動支援センター 会議室1

申込
フォーム



【対象】

子どもの居場所でボランティア活動をはじめたいと考えている人

ボランティア受け入れ講座

2024年11月11(月)、20日(水)

【場所】なは市民活動支援センター 会議室1

申込
フォーム



市民活動を行っている団体の方を対象に、仲間づくりや活動プログラムの作り方を学ぶ講座です。

貸し出し中!

なはセンお薦め図書



ソトコト

「社会や環境がよくなって、そしておもしろい」をテーマとしたソーシャル&エコマガジン『ソトコト』。アフリカのバンツ族の言葉である「木の下」というソトコトの意味から木陰で議論し合い、未来に繋がるいい知恵を生み出そうという生活に役立つ情報が詰め込まれています。

ウォロ

1966年創刊の「月間ボランティア」から2003年に『ウォロ volo』に雑誌名を変更し、「市民が主体的に関わることの大切さ」をテーマに発刊されています。分野・セクターを越えた社会課題向き合うきっかけがきっと見つかるかも…!



コトノネ

全国の障がい施設、就労支援施設の経営改革に関する様々な提案を行うことを目的に、2012年から創刊されている雑誌です。

「コトノネ」の「コト」は「事」、「言」や「異」であることから、それぞれが入り混じりながら「音色」を表現していくという想いが詰められています。

なは市民活動支援センターについて



◆施設利用料金 ※1時間当たりの料金 ※オンライン機材貸出可

	収容人数	料金	冷房
会議室①	84人	1,300円	400円
会議室②	30人	650円	200円
会議室③	30人	650円	200円
会議室④	8人	200円	100円
会議室⑤	12人	200円	100円
会議室⑥	12人	200円	100円
会議室⑦	5人	200円	100円
会議室⑧	20人	250円	100円
研修室①	16人	200円	100円
研修室②	16人	200円	100円

◆駐車場について・・・

なは市民協働プラザ地下駐車場（駐車台数：39台）
メカルパーキング（駐車台数：70台）
※なは市民活動支援センターをご利用の場合、駐車料金は減免の対象となります（例：2時間100円）

◆開館時間、休館日

月・火・木・金	9:00-21:00
水・土・日	9:00-17:00
休館日	年末年始・慰霊の日

◆めかる学習ステーション

開館時間中、なは市民活動支援センター 2階を学生・社会人向けの自習スペースとして開放しています！
それぞれの学習ペースに合わせてご活用ください。

なはセン相談室

◆市民活動よろず相談

那覇市における市民活動に関する相談サービスです。
なお、相談希望の場合は原則予約制となっておりますので、詳しくはこちらのQRコードから！

～相談日時～

月・火・土 10:00～17:00
金 14:00～20:00

予約はコチラ



◆那覇市人材データバンク (ボランティアマッチング)

那覇市でボランティアをしたい人と受け入れたい団体のマッチングを行い、地域社会の課題解決につなげます！

ボランティアをしたい個人や団体、ボランティアを求める団体の情報はこちらで公開しています！

ボランティア情報は
コチラから



助成金情報

◆子どもゆめ基金

【締め切り】

一次募集：2024年11月19日(火)

二次募集：2025年6月17日(火)

【問合せ】03-5790-8117・8118

【内容】未来を担う夢を持った子どもの健全育成を目的とした体験活動、読書活動への支援を目的とした基金です。



編集後記

今月号の表紙の記事である『地域情報アドバイザーが教えるデータ活用』では地域課題の解決にはもちろんですが、情報やデータとどのようにうまく向き合っていくのか考えるきっかけとなりました。“ちょっと明日がワクワクする”講座をなはセン通信でもお伝えしていければと思います。